

平成23年度病害虫発生予報第12号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

農作物名	病害虫名	発 生 程 度	
		現 況	予 想
麦 類	うどんこ病	並	並
きゅうり	べと病 うどんこ病 褐斑病 菌核病 灰色かび病（防除情報第15号継続） ミナミキイロアザミウマ コナジラミ類	並 やや少 並 やや多 やや多 やや少 少	並 やや少 並 やや多 やや多 やや少 少
トマト	黄化葉巻病 灰色かび病 コナジラミ類	やや少 並 やや少	やや少 並 やや少
いちご （本圃）	うどんこ病 灰色かび病（防除情報第15号継続） アブラムシ類 ハダニ類	並 やや多 並 並	並 やや多 並 並
たまねぎ	白色疫病 べと病（注意報第3号） ネギアザミウマ	やや少 多 並	やや少 多 並
かんきつ	そうか病  かいよう病  ミカンハダニ	-  (越冬病斑) やや少  (越冬病斑) やや少	並  やや少  やや少
果樹共通	クワゴマダラヒトリ	やや少	やや少
茶	カンザワハダニ	やや少	やや少

【発生予報】 本文の( )内は平年値

**麦 類**

1. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 3月上旬の巡回調査（大麦9筆、裸麦6筆、小麦15筆）の結果、発生を認めなかった（発生を認めない）。

イ 3月3半旬の県予察圃場（無防除、諫早市）調査の結果、発生を認めなかった（発生を認めない）。

## きゅうり

### 1. べと病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は2.2%(5.1%)、発生圃場率は50.0%(46.5%)であった。

### 2. うどんこ病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は4.0%(9.4%)、発生圃場率は41.7%(67.4%)であった。

### 3. 褐斑病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は7.7%(5.4%)、発生圃場率は25.0%(56.3%)であった。

### 4. 菌核病

(1) 予報内容

発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病果率は0.0%(0.0%)、発生圃場率は16.7%(4.2%)であった。

### 5. 灰色かび病

平成24年3月2日付け**病害虫発生予察防除情報第15号**を継続。

なお、その後の発生状況については、以下のとおりである。

(1) 発生状況

3月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病果率は0.3%(0.1%)、発生圃場率は33.3%(10.5%)であった。

### 6. ミナミキイロアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は0.5%(1.4%)、発生圃場率は8.3%(26.3%)であった。

(3) 防除上注意すべき事項

ア キュウリ黄化えそ病ウイルスの伝染環を遮断するため、ウイルス保毒虫が野外に分散しないよう、発生初期に防除する。

イ 本虫は強い薬剤抵抗性を持つので、薬剤の選定にあたっては十分留意する。

ウ 栽培終了時に密閉陽熱処理等によって死滅させ、施設外への分散を防ぐ。

## 7. コナジラミ類

### (1) 予報内容

発生程度 少

### (2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は0.8%(3.6%)、発生圃場率は8.3%(32.4%)であった。

### (3) 防除上注意すべき事項

ア キュウリ退緑黄化病ウイルスの伝染環を遮断するため、ウイルス保毒虫が野外に分散しないよう、発生初期に防除する。

イ 本虫は強い薬剤抵抗性を持つので、薬剤の選定にあたっては十分留意する。

ウ 栽培終了時に密閉陽熱処理等によって死滅させ、施設外への分散を防ぐ。

## トマト

### 1. 黄化葉巻病

#### (1) 予報内容

発生程度 やや少

#### (2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病株率は0.2%(過去7ヵ年0.7%)、発生圃場率は16.7%(同29.8%)であった。

### 2. 灰色かび病

#### (1) 予報内容

発生程度 並

#### (2) 予報の根拠

ア 3月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病果率は0.1%(0.3%)、発生圃場率は16.7%(27.1%)であったが、茎葉における発生が認められた。

イ 病害虫防除員からの報告によると多~やや多の発生である。

### 3. コナジラミ類

#### (1) 予報内容

発生程度 やや少

#### (2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は0.0%(寄生株率0.6%)、発生圃場率は8.3%(13.6%)であった。

## いちご

### 1. うどんこ病

#### (1) 予報内容

発生程度 並

#### (2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(27筆)の結果、葉での発病株率は0.0%(0.1%)、発生圃場率は3.7%(3.7%)、果実での発生は認めなかった(発病果率0.0%、発生圃場率1.9%)。

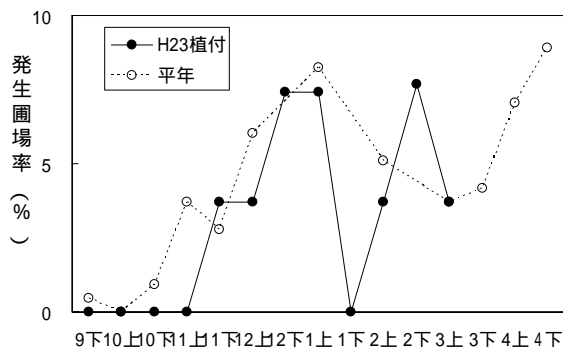


図 いちごうどんこ病 発生圃場率の推移

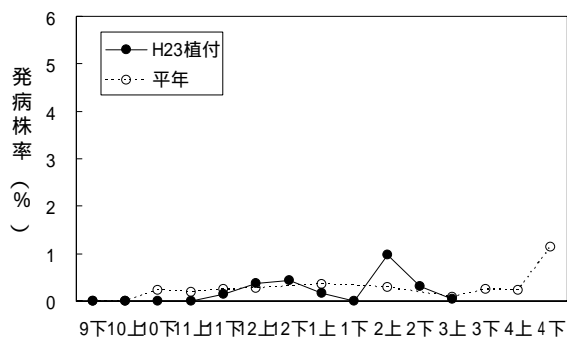


図 いちごうどんこ病 発病株率の推移

### (3) 防除上注意すべき事項

- ア 多発すると防除が困難になるので、早期発見、早期防除に努める。
- イ 発病葉や発病果実は伝染源となるので、圃場外へ持ち出し、適切に処分する。
- ウ 発生を認めたら治療効果のある薬剤を1週間程度の間隔で散布し、防除を徹底する。
- エ 薬剤は、葉裏や下位葉にもむらなくかかるように十分量を散布する。
- オ 薬剤耐性菌発達の防止のため、同一系統の薬剤を連用しない。

## 2. 灰色かび病

平成24年3月2日付け病害虫発生予察防除情報第15号を継続。

なお、その後の発生状況については、以下のとおりである。

### (1) 発生状況等

- ア 3月上旬の巡回調査(27筆)の結果、発病果率は0.3%(0.2%)、発生圃場率は37.0%(15.7%)であった。
- イ 病害虫防除員の報告でも、やや多の発生である。

## 3. アブラムシ類

### (1) 予報内容

発生程度 並

### (2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は0.4%(0.8%)、発生圃場率は7.4%(9.3%)であった。

## 4. ハダニ類

### (1) 予報内容

発生程度 並

### (2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(27筆)の結果、寄生株率は2.2%(4.0%)、発生圃場率は37.0%(34.7%)であった。

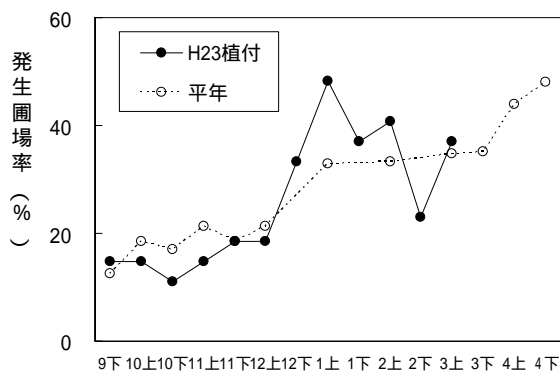


図 いちごハダニ類 発生圃場率の推移

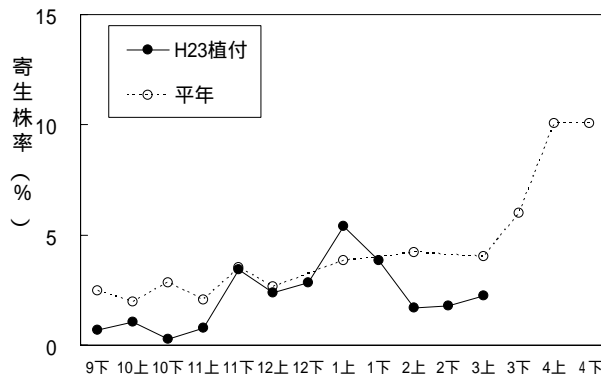


図 いちごハダニ類 寄生株率の推移

(3) 防除上注意すべき事項

- ア 密度が高くなると防除が困難となるので、発生初期の防除を徹底する。
- イ 葉裏に多く寄生するので、薬剤散布は下葉かき等古葉の整理を行なった後、薬液が葉裏に十分かかるように丁寧に散布する。
- ウ 薬剤感受性が低下しやすいので、同一薬剤は連用しない。
- エ 天敵(チリカブリダニ等)を使用している圃場は、発生状況に応じて天敵に影響の少ない殺ダニ剤を活用する。

たまねぎ

1. 白色疫病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(15筆)の結果、発生を認めなかった(発病株率0.1%、発生圃場率5.8%)。

2. ベと病

平成24年3月14日付け病害虫発生予察注意報第3号による。

3. ネギアザミウマ

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(15筆)の結果、寄生株率は24.1%(20.8%)、発生圃場率は80.0%(72.5%)であった。

かんきつ

1. そうか病

(1) 予報内容

発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(39筆)の結果、発生を認めなかった(発病葉率0.0%、発生圃場率1.3%)。

2. かいよう病

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(39筆)の結果、発病葉率は0.2%(0.5%)、発生圃場率は15.4%(25.6%)であった。

3. ミカンハダニ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(39筆)の結果、寄生葉率は1.6%(2.4%)、発生圃場率は25.6%(31.4%)であった。

果樹共通

1. クワゴマダラヒトリ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

平成23年9～10月に実施した産卵樹上(アカメガシワ、カラスザンショウ)における幼虫巢の発生調査の結果、県内8地区の平均発生程度は0.1であった(平成17～22年の平均:0.9)。

※調査方法:発生程度を達観で極多:5、多:4、中:3、少:2、極少:1、無:0とした。

茶

1. カンザワハダニ

(1) 予報内容

発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月上旬の巡回調査(16筆)の結果、寄生葉率は0.0%(1.3%)、発生圃場率は12.5%(32.8%)であった。

【参考】

気象 (平成24年3月9日発表 1か月予報 福岡管区气象台)

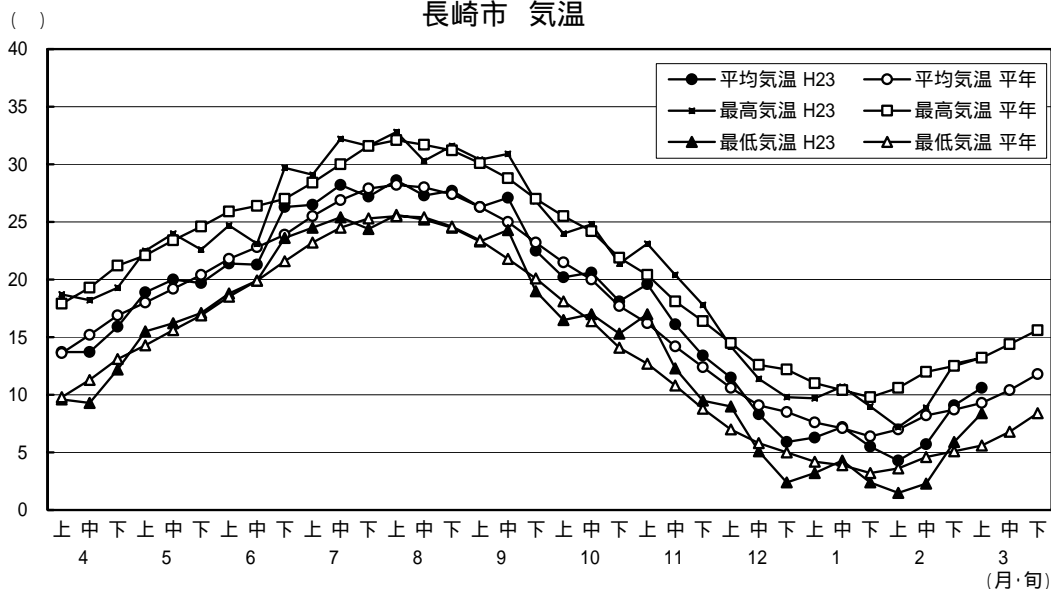
要素別確率

要素	低い (少ない)	平年並	高い (多い)
気温	40	40	20
降水量	30	40	30
日照時間	30	40	30

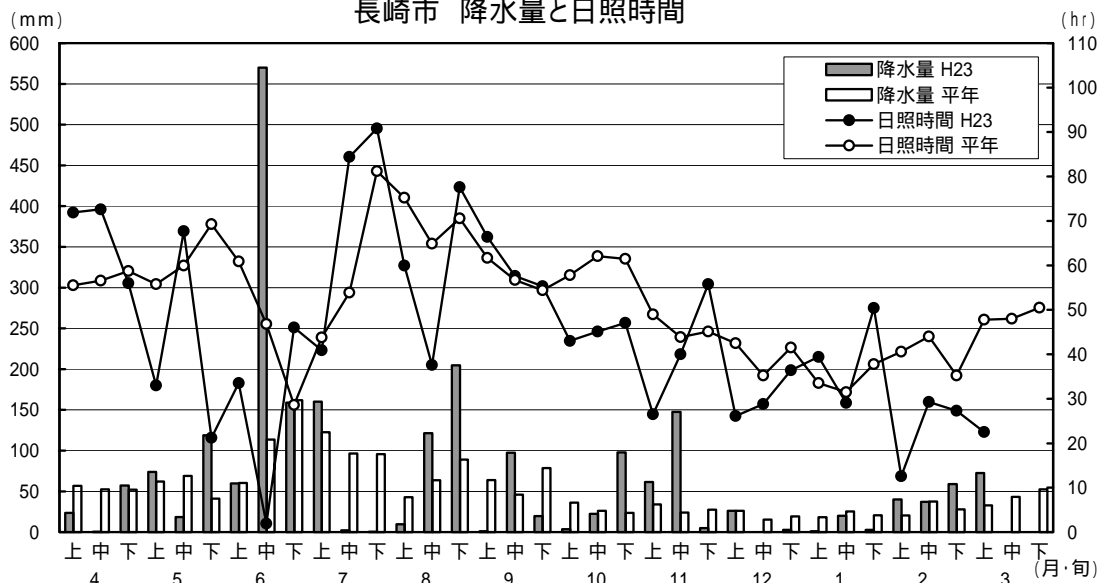
予報対象地域：九州北部地域

平成23年度の気象経過 (長崎海洋气象台)

長崎市 気温



長崎市 降水量と日照時間



病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnp.ne.jp/nagasaki/>

この情報に関するお問い合わせ

長崎県病害虫防除所 TEL：0957-26-0027